

お住まいのことでお困り
の時は、経験豊かな私達
におまかせください。
なによりも人と環境にや
さしい住宅づくりを目指
しています。



町の建築職人へ リフォーム・新築は



全建総連

マイホームの 寿命をのばす

CHECK

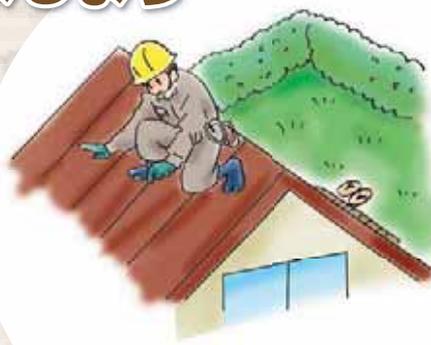
チェック

CHECK
POINT

1

屋根の雨漏りを 点検しましょう

軒先の瓦が少々ずれている程度なら、居住者の方でも補修できますが、棟近くの瓦は重量がかかっていて補修が難しいので、専門家にまかせます。谷のトタン部分は雨漏りをおこしやすいので、サビないようペイントを塗ります。



CHECK
POINT

4

バルコニー 点検を

バルコニーは、常に風雨にさらされているので、汚れがたまったり腐食しやすい場所です。ほこりやゴミがたまっていないか、雨水などがすみやかに排水されているか、床の防水面に破損がないかどうか点検します。

樋の破損は すぐ手当しましょう



破れたところから出る水が、土台や壁をくささせます。小さな破れは防水テープなどでふさぎます。また、つまった落葉やゴミを取り除くとともに、つなぎ目の部分の点検も忘れずにいきます。

CHECK
POINT

2

基礎や土台は 専門家にまかせ



基礎
分
で
し、
基礎
に
接
気
、

CHECK
POINT

3

外壁の破損は 家の寿命をちぢめます

モルタル塗りの外壁には細かい亀裂が入ることがありますが、モルタルが乾燥硬化する際に収縮するために生ずるもので、ある程度やむを得ない現象です。モルタルは通常3回程度に分けて塗り、亀裂が下地まで通らないよう施工しています。しかし、亀裂が大きくなったり、モルタルがはく離すると補修が必要となります。



サイディングは、継ぎ目にシーリングが充てんしてあり、すきまをふさいでいます。シーリングの劣化や表面塗装のはがれ、ひびがないかどうか、点検します。

CHECK
POINT

6

白アリ、 早期発

住まいに被害を及ぼすのはヤマトシロアリとイエシロアリです。白アリは湿気が多く暖かい場所を好みます。近所で白アリが発生したり、羽蟻を見かけたら、念のため土台や床下の木部を点検しましょう。

POINT

ポイント

日頃の点検、こまめな手入れが、住まいを長生きさせます

住まいは日頃のちょっとした手入れさえおこなえば、永い間快適に住めるものです。そのため、掃除などのほかに定期的に点検を行うことが望めます。こまめに気を配っていれば、それだけで補修費用をかなりおさえることができます。

バルコニー、ベランダ おこたりになく



CHECK POINT

7

カビ、ダニ対策は 風通しと結露防止を

カビは、温度 (20~70℃)、湿度 (70%以上)、栄養の3つの条件がそろくと、どこにでも発生します。最近の室内のカビの原因は、アルミサッシや窓ガラス、壁が結露し、その湿気が室内にたまることです。カビが繁殖すると、ダニが集まってきます。ダニはカビが大好物です。



CHECK POINT

5

点検を 必ず

基礎や土台は、家を支える大切な部分です。それだけに点検も大切です。補修は専門家にまかせましょう。基礎、土台には水が大敵です。外壁に接して物を置いていたり、床下換気口をふさいでいないかどうか、通水はけに注意しましょう。

安全かどうか①

防犯対策を忘れずに



空き巣、ドロボーの被害が増えています。出入口や窓など開口部の防犯対策を見直してみましょう。ドロボーの侵入工作に5分持ちこたえれば、侵入をあきらめると言われています。また、カーポートの屋根、道路に設置された電柱や標識から伝って2階に入りやすいかどうか点検します。

CHECK POINT

8

害虫は 見が第一です

違いをよく覚えて

羽 胴のくびれ



【シロアリ】

【アリ】

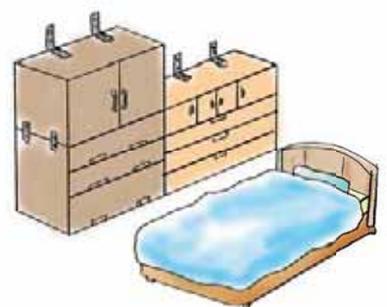
CHECK POINT

9

安全かどうか②

地震対策も点検

大地震に備えて、建物の耐震診断を受けることも大切ですが、室内の家具の転倒防止対策もおこなってください。本棚 (巾90cm) は150~200kg、洋タンスは100~150kg、アップライトのピアノで200~250kgもの重量があります。寝室では必ず家具に転倒防止金具をつけましょう。



新築・増改築／修繕 何でもOK!

大工



左官



鳶



塗装



屋根



建具



石工



板金



造園



内装・
インテリア



設備



ガラス



畳



消毒



解体



豊富な
実務経験

建築士
(1級・2級・木造)

技能士
(1級・2級)

施工管理技士
(1級・2級)

増改築相談員・指導員

職業訓練指導員